

日亜化学工業株式会社

# 押すトッパ-

これまでは荷物を運ぶ時、市販台車を使っていた。その際、使用環境や作業者の体格の違いを考慮しておらず、場合によっては作業者に負担を強いることがあった。そこで、作業環境に合わせて荷物を「誰でも、楽に、安全に」運べるように台車を自分たちで加工した。

改善前



加工前の市販台車



① 取っ手を持つ位置が異なる



身長:166cm



身長:186cm

② 身長により運搬する姿勢が異なる



③ 停止後に輪止めを行う

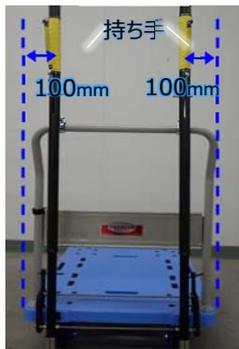
着眼点

- ① 取っ手を持つ位置によっては狭い場所において手が壁に挟まれる危険性がある
- ② 長身者はかがみ姿勢での運搬となり、腰への負担が大きい
- ③ 停止する際に輪止め忘れや無理な姿勢を強いられる

改善後

① 手の挟まれ防止

持つ位置が必ず台車の内側になるよう持ち手を棒に変えた。



② 腰痛防止

内側に立てた持ち手(棒)を長身者に合わせて高くした。



③ 輪止め忘れ防止

車輪にストッパーを設け取っ手から手を離せばブレーキがかかる構造にした。



機構

テコ

動力源

人の力

効果

定性面：荷物運搬時の挟まれリスクが無くなり腰痛予防にもなる事で運搬が楽になった  
 定量面：輪止め作業を無くし運搬作業時間の低減が図られた (▲5秒/回)

反省点

- ・ これまでは市販品をそのまま使うのが普通で、作業を楽にするという考えが無かった
- ・ 荷物の運搬がムダという意識が低く、時間が掛かるという事を問題視していなかった